

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	農業施設維持管理事業			事業コード	1751
所属コード	155000	課等名	[玉山]建設課	係名	建設
課長名	千葉吉信	担当者名	福田一	内線番号	235
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産基盤の整備	コード	2
予算費目名	一般会計 6 款 1 項 5 目 農業施設維持管理事業 (004-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	不明年度	
根拠法令等	なし			

(2) 事務事業の概要

農業農村の生活、生産基盤である農道及び農業施設の維持管理を行うもの

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

農業農村の生活、生産基盤である農道及び農業施設の維持管理を行うため

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

老朽化に伴う整備が増大していくと考えられる

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

農道, 農業施設 (玉山区内)

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 見込み
A 農道管理路線数	本	10	10	10	10	10
B 農業施設補修箇所	箇所	1	0	1	1	1
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

農道除雪、農道施設維持管理、農業用水路補修工事、原材料支給

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 農道工事路線数	本	0	0	1	0	1
B 農道除雪路線数	本	10	10	10	10	10
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

安全で快適に利用できるように努める。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 農道工事完了件数	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	件	0	0	1	0	1
B 農道除雪率	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	%	100	100	100	100	100
C 農業施設補修完了件数	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	件	1	0	1	1	1

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	3,178	2,652	4,238	4,187
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	3,178	2,652	4,238	4,187
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,000	1,000	1,000	1,000
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	4,000	4,000	4,000	4,000
計	トータルコスト A+B	千円	7,178	6,652	8,238	8,187
備考						

### 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

#### (1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

##### ① 施策体系との整合性

事業により生産基盤の整備が図られるため結びついている

##### ② 市の関与の妥当性

市が管理する施設であり維持すべきものである

##### ③ 対象の妥当性

市が管理する施設である

##### ④ 廃止・休止の影響

生産性が低下する。また重大な事故が発生する恐れがある

#### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

成果として維持することが目標であるため向上の余地はない

#### (3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

特定の受益者はいない

#### (4) 効率性評価

全ての改修整備に対応できていない現状から、事業費削減は困難である

### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

#### (1) 改革改善の方向性

緊急度や重要性を考慮して、現状を維持する

#### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

玉山区制終了後の事務事業の継承

### 5 課長意見 . . . . .

#### (1) 今後の方向性

- 現状維持 (従来どおりで特に改革改善をしない)
- 改革改善を行う (事業の統廃合・連携を含む)
- 終了・廃止・休止

#### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

- ・農業生産の基盤である農道及び農業施設の維持管理について、緊急性や重要性を考慮して行った。
- ・維持管理の事業費を確保しながら、緊急性・重要性を考慮して継続する。